

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ほのぼの作成日: 令和4年3月23日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		職員の確保と人材の育成	現在、職員不足のため、現場の職員への負担が増している。人材の確保に積極的に取り組み、次世代のリーダーの育成に取り組んでいく。	実習の受け入れや職員の紹介制度の活用等、人材の確保に向けて積極的に取り組んでいく。また、5年先、10年先を見通した職員の育成にも取り組んでいく。	12ヶ月
2	37	災害対策	年1回避難訓練を行なっているが、夜間専門のスタッフもいる為、職員全員が非常時に冷静に行動できるかが不安であるため、避難訓練を頻繁に行える体制を整え、職員一人ひとりの意識と技術を高めていく。	職員が、職員と利用者役に分かれ、避難場所を特定し、目標タイムを設定して夜間想定訓練を行い、夜勤者が自信をつけるまで繰り返し訓練し、利用者が安全に避難場所で待機できる体制を整えていく。また、非常食の備蓄も行っていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。